

令和6年4月30日

令和6年

第4回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和6年4月30日（火曜日）午後3時から

### 1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史	教育長
三 留 利 夫 委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子 委 員	
高 橋 幸 子 委 員	
深 澤 佳 己 委 員	
北 内 英 章 委 員	

### 2 出席職員（12名）

教育総務部長	今 井 健太郎
参事（教育施設担当）	河原田 光
教育総務課長	鈴 木 孝 司
教育施設担当課長	小野澤 行 平
副参事（教育施設調整担当）	小 池 武 道
副参事（教育地域力担当）	長 岡 誠
学務課長	高 野 恭 子
指導課長	細 田 真 司
指導企画担当課長	木 下 健太郎
学校支援担当課長	鈴 木 啓 介
教育センター所長	早 田 由香吏
大田図書館長	後 藤 清

### 3 日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 議案審議

令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る委員会の設置について

(午後3時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和6年第4回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。

(「はい」との声あり)

○教育長

よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私から本日は4点にわたり報告させていただきます。

1点目は、4月8日に行われた小学校の入学式についてでございます。

今年は、入新井第一小学校の入学式を拝見させていただきました。小学校の新一年生、入学してきた新一年生は、本当に印象としてかわいらしくて、幼く見えました。保育園や幼稚園を卒園したて、校舎の大きな学校に入ってきて、毎日学習が始まるということは、1年生にとっては大きな生活の変化であるかというふうに思っております。

入学式の次第につきましては、コロナ以前のものに自然に戻ってきたように思います。1年生は、式辞や祝辞の中で、おめでとうございますという言葉がかけられると、いつも

ありがとうございますと声をそろえて、みんなで言っているその姿が、大変ほほ笑ましく思いました。

また、1年生を迎える6年生の最高学年らしいしっかりとした1年生を歓迎する言葉は大変立派で、成長を感じさせるものでした。また、2年生が歓迎の音楽と言葉ということで1年生を迎えたのですけれども、そのかわいらしい1年生の姿と比べると、その1年間での成長の大きさというものは、非常に大きく感じさせていただきました。全体で演奏したり、呼びかけの言葉、こどもたちが学校生活の中で、チームというのか、大きく成長しているその姿を実感することができました。

また、2点目の報告は4月9日です。中学校の入学式に、南六郷中学に行ってまいりました。学生服を1年生が着ているのですけれども、まだ小学生の残りがあるのか、かなり大きめの制服を着ているかわいらしい姿でした。

中学校のほうでは、入場の後、一人一人の生徒の呼名というのがあって、入学生は一人一人起立してしっかりと返事をするというところでした。

また、新入生全員の呼名の後、校長先生が入学を許可いたしますというふうな宣言をします。そういうところも、小学校とは少し違って、大人の成長の雰囲気があったのかなというふうに思います。

それから、教員一人一人が紹介される中で、教科、それから部活動の紹介がありました。部活動も中学校生活においては、大変、大事な位置を占めているのかなというふうに思いますし、今、部活動のあり方について様々な議論がされているところです。

中学校のほうも、両親で入学式に来ている方が多かったように思いました。とても初々しい姿と、3年間、中学校のほうでは大きな、心身ともに成長、変化があるかというふうに思いますけれども、彼らが充実した学校生活を送れるようにすることは大変重要だよということを再確認いたしました。

3点目の報告は、4月24日に行われた大森東小学校の自閉症・情緒障害の特別支援学級の開級式がございました。今年度からの情緒障害学級の固定級、自閉症のほうの大森東小学校に開級され、区長をはじめ、区議会議員の方々、地域の方々が開級式に来ていらっしゃいました。

学級のこどもたちは5人なのですけども、その中で4人参加ということでしたが、どの子もしっかりと開級式に臨んでおりました。校長先生や私が挨拶の中で声をかけると、それについて一生懸命答えてくれるというようなほほ笑ましい場面もあって、とても和やかな開級式になりました。

担任の先生が、とてもにこやかで一人一人の教育のニーズというのですか、しっかりと見極めながら指導していただけるよいスタートが切れたのではないかというふうに思っております。

特別支援教育の充実については、今後、そのあり方について、しっかりと教育委員会として計画を立て、将来を見据えて、その充実を図っていきたいというふうに思っております。

最後の4点目の報告は、さきの日曜日、4月28日、ガーデンパーティーがございました。晴天に恵まれて、コロナの影響もありまして5年ぶりの開催ということで、どこの会場も、非常に盛況な状況でした。

ガーデンパーティーは、戦後間もなく始まって 70 年ほどの歴史があるかというふうに伺っております。戦後間もなくゴールデンウィークのこどもたちを楽しませてあげようということで、地域の方々が開いてくれた催しが始まりでございます。地域の方々のこどもたちに対する思いがこもった催物で、大田区の非常に、地域とともにあるというところを象徴している行事かなというふうに思います。

私は、蒲田西、大森、萩中、新井宿、馬込、矢口、洗足など 7 会場のほうを渡って、回ってみましたけれども、どの会場も大変親子連れで盛況ぶりがありました。

当初は、このガーデンパーティー、行楽地などへ行けないこどもたちのためにというような目標もあったというふうに伺っておりますけれども、今は新たな親子のふれあいの場というのですか、そういうことで大変意義のある、価値のある取組ではないかというふうに思っております。地域とこどもや家族がつながる大田ならではのすばらしい行事の一つであるかというふうに思いました。さらに発展すればいいと思っております。

その中で、萩中会場の中では、中萩中小学校のこどもたち、4 年生四人ですか、男の子二人、女の子二人なのですけれども、レゴの大会で、全国大会で優勝したということで、自分たちで作った世界を英語で一生懸命話をしていました。教育長が来たということで、もう一度やっていただいたのですけれども、自信を持って英語で話をしている様子、非常に感銘を受けたところです。

こどもたち自身が楽しませてもらうというだけではなくて、自分たちのそういう発表の場というのですか、地域とつながっていく場にもなっているのかなというふうに思います。以前に比べますと、ブラスバンド、ダンスとか、各学校の取組が、各会場でかなり多くの数が発表するようなことが増えているように思いました。

これは、地域とつながる大田の未来づくりだとか、そういう、今までの活動と結びついているのかなというふうに思いますが、こどもたちがガーデンパーティーを通して地域の方々とつながる新しいコミュニケーションの場になっているのかなというふうに思いました。

私からの報告は以上でございます。

何かご質問・ご意見、また委員の方々の報告がありましたらお願いいたします。

### ○三留委員

4 月は、これから始まるための式、たくさんありました。教育長の話とも関連する部分もあるのですが、私も参加した二つの式について感じたことを述べさせていただきます。

1 点目は、4 月 1 日に行われた令和 6 年度新規採用教員の発令式です。

今年度は、小中合わせて 161 名の採用ということで、相変わらず大田区は大人数の採用になります。誰もが不安があるものの、新しい職に就く希望を抱いているようにも見えました。代表の中学校の新採用教諭は、生徒に愛情を持って接すること、指導すべきことはきちんと指導することを挨拶の中で述べていました。いろいろな考えがあるかもしれませんが、この二つのことは、極めて大切なことだと思います。私も初心を大切にしたいと、新採の先生方に声をかけたところでございます。職場として、あるいは管理職として、こういった教員の思いを大切にしてもらいたいと思っております。

大田区は、新規採用職員育成のシステムや、指導者がしっかりしていると私は思っています。慢性的な教師不足が指摘される中、採用された教員が大田区、東京都の教員として、こどもたちの成長のために力を発揮できるように、研修とこどもたちの指導に励んでほしいと期待をしているところでございます。

もう一つは、教育長からもお話ありましたけども、4月8日にあった小学校の入学式です。教育長から参加を勧められて、私は入新井第五小学校の入学式に出ましたけども、参列してよかったと思いました。

天気もよく、久しぶりに桜がきれいに咲いていて、新入生の出発にふさわしい日となりました。今、温暖化で、なかなか入学式に桜というのはないのですが、今年は本当に桜が、ぴったり当たって、桜の前で、こどもたちが写真を、親と一緒に撮っている様子が見られました。

57人の新入生だったのですが、紙芝居を交えた校長の話を神妙な面持ちで聞いておりました。教育長もお話をしていましたけども、来賓紹介で一人一人がおめでとうございませと挨拶すると、そのたびにありがとうございますという声を出すなど、素直で明るいこどもたちを見て、これから学校生活を送る中で、健やかに成長してほしいと願わずにはいられませんでした。

新規採用教員と小学校1年生ということで、立場は違いますけども、不安の中で大きな期待を持って、新しい生活が始まろうとしているところで、期待に応えられるよう支援してもらいたいと思いました。

ガーデンパーティーは、梅田小が行われた馬込会場の催しに参加をいたしました。教育長からも話がありましたけども、コロナ禍を経て5年ぶりの開催ということでしたが、晴天の下、できてよかったと思いました。

様々なコーナーが用意されて、たくさんのこどもたちがそれぞれのプログラムを楽しんでいました。

私は、これまでいろいろな会場に参加してきましたけども、それぞれの会場で特徴ある催しがなされています。馬込会場では体育館ステージと称して、地域・各学校の児童・生徒の様々な演奏やダンスが披露されていました。地域の方々による雅楽の演奏や、吹奏楽の演奏に感激をしたところです。

馬込地区の全ての小中学校のクラブ活動、部活動の発表の場ともなっていて、こうしたことも、こどもたちにとっては貴重な体験だったのではないかなと思います。

こどもたちが地域の一員として意識を感じるガーデンパーティーの意義を、参加して、改めて感じたところでございます。

○教育長

よろしいですか。

○高橋委員

高橋です。

私は、4月8日に糀谷中学校の夜間学級の入学式がありまして、そちらに出席いたしました。新入生は4名でしたが、当日は2名の出席でした。

在校生が歓迎の言葉を言ってくれるのですが、楽しい行事もたくさんあるので、とにかく学校に来て、一緒に学びましょうと誘って来ていました。

生徒の国籍は、日本、ネパール、中国で、10代が一番多く、50代までの生徒がこれから1年間学んでいきます。

最初は全然日本語が分からない生徒も話せるようになってくるようなので、その点がすごいなと思っております。

先生方がすごくたくさんいらっしやって、力強く思いました。

## ○教育長

ほかにございますか。

## ○北内委員

私からも3点を報告いたします。

まず最初に、4月28日日曜日、大田区子どもガーデンパーティーのお手伝いをさせていただきました。私は多摩川台会場（多摩川台公園）でお手伝いさせていただきました。

令和元年以来5年ぶりの開催でした。当日は、熱中症が心配になるくらい天候に恵まれ、地域のこどもたち、自治会、青少年対策地区委員会（青少対）、学校関係者など、多数の来場者を迎えることができました。

また、多摩川台会場には、主に東調布第一小学校、田園調布小学校、東調布第三小学校、調布大塚小学校、嶺町小学校、千鳥小学校、東調布中学校、田園調布中学校、大森第七中学校の児童・生徒が来場します。また、各校の校長先生と副校長先生も出席してくださいました。

当日は、青少対のジュニアリーダーだけでなく、中学生たちも学校を越えてお手伝いしてくれました。お昼休みには、東調布中学校の吹奏楽部による演奏とチアリーディング部によるパフォーマンスを披露してくれました。

「大田区子どもガーデンパーティー」の目的である「こどもたちがゲームや軽スポーツを通して一日を楽しく過ごすとともに、交流を通じ地域社会でのつながりを深めること」を達成できたのではないかと考えています。

地震など災害時に、地域に知っている大人がいるとこどもたちは安心します。また、3.11の時のように、保護者が職場から帰宅できなくなった場合でも、保護者と地域が知り合っていることで、地域で連携を図ることもできます。

年度初めに開催されるこの子どもガーデンパーティーは、地域関係者が一堂に会するとても貴重な機会であると改めて実感しました。

次に、4月26日金曜日、志茂田中学校の部活動地域移行推進モデルの状況について、お伺いする機会がありました。保護者さんからは、クラブ活動の充実推進は勿論のこと、クラブ顧問が校務中の場合、安全管理の観点から生徒はクラブ開始まで一時帰宅し、再登校する必要性がありました。通学圏によっては、生徒は帰宅してすぐに再登校しなければいけない場合もありました。部活動地域移行によって、顧問とは別に部活動指導員が居ることで、生徒の一時帰宅が改善されることを評価されていました。

先生からは、非常に良い部活動指導員が来てくださり、生徒たちに目が行き届くと評価

されてきました。これから課題の洗い出しを進めると仰ってました。指導課から部活動指導員に関して指導して下さり、学校では申合せ事項を作られ安全・指導に配慮されていました。

最後に、今月、大田区立小学校PTAで用途不明金に関する報道がありました。私もPTA会長を務めていたから分かるのですが、大田区のPTA・PTOの皆さんは、子ども・先生・学校・地域のことを常日頃考えてくださり活動しています。多様化する社会において、子どもの教育を先生だけで全て賄うのは、ほぼ不可能だと思います。家庭、学校、地域が連携して進めていくのが良いと思っています。このような事案によって、区全体のPTA・PTOが風評被害を受けることを心配しています。大田区ほぼ全てのPTA・PTOは健全に活動していますので、保護者の皆さんご安心ください。

#### ○教育長

ほかにありますか。

#### ○弘瀬委員

私も4月29日、第73回大田区子どもガーデンパーティー、新井宿会場に行きました。昨年は雨で中止となってしまいましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症も2類相当から5類になって、5年ぶりに従来どおりに開催できていました。また数日前から天気が危ぶまれていましたが、当日は晴天に恵まれ、子どもたちの元気な笑い声が朝から聞こえておりました。

新井宿のキャッチフレーズは子どもとまちの笑顔をつくる新井宿ということでした。入新井第四小学校の児童の元気な声で開会の言葉があり、その後、大会長、自治会長等のご挨拶、そしてレインボーズのオープニングアクトなどが、ガーデンパーティーが始まりました。

集会等では、子どもたちがお花や、怪獣のボディペイントしてもらい楽しんでいました。お菓子の入った袋をつり上げたり、お話を聞くスペース、折り紙を折って楽しむところ、茶道体験、三味線を実際に弾いてみたり、風車を作ったり、スポーツの吹き矢で楽しんだり子どもたちはいろいろなものに体験しながら楽しんでいました。そして、ご父兄の方々も一緒に楽しみながら写真を撮るのに夢中になっていました。

広場では売店コーナーがあり、手作りのパン、焼きそばに行列ができていました。そのほかに、大森消防署からのミニポンプ車、あるいは大森警察署からのキャラバンカー等の参加もありました。

クロージングセレモニーは、子どもたち全員が舞台上がり、大田区長も一緒になって、テーマソングの「つばめ」をみんなで大合唱して終了となりました。

来年は、大田文化の森が改修工事のためほかの場所を借りて大田区子どもガーデンパーティーを行う予定となっているということでした。

それから、4月25日大森第五小学校の健康診断が始まりました。第3週目ぐらいから各学校では健診が始まっていると思われます。私は25日からスタートしました。2年生と5年生からはじめましたが、学校からの連絡が行き届いていたためか、ほぼ全員の子どもたちがラップタオルを使って静かに順番を待っていました。ラップタオルというのは、水着

の上にかけるタオルを言っています。それからパーティションでも区切って、その中で診察を行っています。側弯の検診で背骨を見るにあたり十分観察できるので非常によかったと思っています。

今回は、大森第五小は校長先生も養護教諭も変わりました。養護教諭の事前の申し送りがきちんとできていたことと、家庭への連絡もきちんとできていたことが健診がスムーズに問題なく終わった要因だと思っています。

#### ○教育長

ありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

#### ○深澤委員

私は、令和6年度教育施策連絡協議会がオンラインで配信されたので、それを視聴いたしました。令和6年度から向こう5年間の東京都の教育振興基本計画である第5次東京都教育ビジョンの三つの柱である、自ら未来を切り拓く力の育成、誰一人取り残さないきめ細やかな教育の充実、子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化についての説明があり、そのうちの「誰一人取り残さないきめ細やかな教育の充実に向けて」についての基調講演がありました。

きめ細やかな教育とは、一人一人が抱えている困難の要因、背景を深く理解する、一人一人の個性や特性を十分に理解する、一人一人の思いや願いを十分聞き取って対応するという教育であり、令和3年に制定された東京都こども基本条例に基づくものであると、私は理解いたしました。

条例では、第8条で、都はこどもの学ぶ意欲や学ぶ権利を尊重し、こどもの可能性を最大限に伸ばすことができるように、一人一人の個性に着目し、自立性や主体性を育むために必要な環境の整備を図るとともに、こどもに寄り添ったきめ細やかな支援に取り組むものと定めています。

オンライン配信では、東京都こども基本条例を説明する動画があり、中学生を対象とする動画では、バスケットボールを将来の仕事にしたいけれども、どうせ大人には理解してもらえないだろうというこどもに対して、親や先生に自分の意見を言ったり、話し合いをすることが大切であるという内容の配信でした。

高校生を対象にする動画では、その人の個性や多様性を大切にすべきであり、従来の固定的な偏見やイメージで決めつけて判断をしてはいけないという内容で、例として、金髪に髪の毛を染めたいこどもを偏見で決めつけるべきではない、個性として捉えるべきだとされていました。高校生は、成人に近い年齢でもあり、小中学生と同一に論じることはできませんが、私は今までとは異なる教育感であると感じました。

こどもが金髪にしたいという気持ちは、おしゃれの一環であり、金髪にすることで学力低下や素行不良という結果が生じるわけではありませんが、私はこどもが金髪にするのは早過ぎるかと考えておりました。この感覚は、私が育ってきた環境に起因するものなのかもしれません。

これからの教育においては、こどもの可能性を最大限伸ばすことができるように、一人一人の個性に注目し、私たち大人の固定観念という殻を打ち破る必要があると、この動画

を見て思いました。

他方で、個性や多様性の尊重についての限界事例についても考えておく必要があると思います。それは、人が家族や学校、地域との関わりの中で生きているという環境に鑑みるということです。絶対的な限界事例が生じた場合はともかくとして、グレーゾーンである限界事例については、こどもと話し合い、解決方法を見つけていく、それが、これからの教育に望まれている姿であると思います。

今までの固定観念や慣習でこどもを縛るのではなく、大人が柔軟かつ確固とした考えや意見を持ち、こどもに説明することができないと、こどもの個性や多様性を尊重する教育は成り立ち得ないということを考えさせられるオンライン配信でした。

#### ○教育長

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次の日程に移ります。日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は、「部課長の報告事項」でございます。

#### ○教育長

それでは、部課長の報告をお願いいたします。

#### ○指導課長

それでは、私から、令和7年度使用中学校教科用図書採択について、ご報告いたします。

令和7年度使用中学校教科用図書の採択を公正かつ適正に行うため、大田区教科用図書採択要綱第2条第2項の規定により、教科用図書調査委員会と、教科用図書資料作成委員会を設置いたします。採択する科目は各教科、特別の教科道徳です。

2、設置する委員会は（1）教科用図書調査委員会、（2）教科用図書資料作成委員会の二つでございます。

（1）教科用図書調査委員会は、大田区教科用図書採択要綱第5条の規定により、学識経験者3名、学校関係者3名、区民代表3名で調整いたします。教科用図書資料作成委員会の調査研究や区民意見、学校意見を踏まえ、報告書をまとめます。

（2）教科用図書資料作成委員会は、大田区教科用図書採択要綱第8条の規定により、委員数は60名となります。教職経験が豊かで教育研究の実績を有する教員で構成し、各教科、特別の教科道徳の調査研究を行います。

続けて、3、教科書展示会についてご説明いたします。令和7年度から使用する中学校教科用図書について、教科書の発行に関する臨時措置法第5条の規定に基づく法定展示期間の14日間に加え、本区では広く区民や教員が展示会に参加できるように、区独自で定めた特別展示期間を含めた6月1日から6月30日を教科書展示会の実施期間といたします。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る区役所内の対応により、本庁舎3階のスペースを使用することができなかつたため、消費者生活センターを区民用展示会場

といたしました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応が終了したため、前回の中学校教科用図書採択と同様に大田区役所本庁舎3階を用いて、区民用展示スペースを設けます。その他、区民用展示会場は池上会館科学室と大森第六中学校です。また、教員専用の展示会場として御園中学校を使用いたします。

4、その他でお示ししているとおり、学校教育法附則第9条の規定に基づき、令和7年度使用特別支援学級教科用図書を採択いたします。

私からは以上です。

○教育長

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問は、ございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、これもちまして、令和6年第4回教育委員会定例会は閉会とします。

令和6年 第4回 教育委員会 定例会 4月30日(火) 午後3:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長 令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る委員会の設置について

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和6年4月30日

令和6年第4回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 部課長の報告事項

## 令和7年度使用中学校教科用図書採択について

- 1 採択する科目 各教科、特別の教科 道徳
- 2 設置する委員会
  - (1) 教科用図書調査委員会（案）
    - ア 構成 9名  
学識経験者3名、学校関係者3名、区民代表3名
    - イ 内容 教科用図書資料作成委員会からの報告を踏まえ、各教科、特別の教科 道徳の教科用図書に関する調査報告書を作成する。
  - (2) 教科用図書資料作成委員会（案）
    - ア 構成 60名（各教科、特別の教科 道徳 各6名）  
教職経験が豊かで教育研究の実績を有する教員
    - イ 内容 各教科、特別の教科 道徳の教科用図書について情報を分析・整理して資料を作成し、教科用図書調査委員会に報告する。
- 3 教科書展示会
  - (1) 目的
    - ・ 区立中学校並びに区民に教科用図書の閲覧・研究の機会を提供することを通して、教科用図書採択にあたっての区民・学校からの適切な意見を聴取する。
  - (2) 期間
    - ・ 6月1日（土）～6月30日（日）
  - (3) 会場
    - ・ 本庁3階（月木：午前9時～午後6時30分、火水金：午前9時～午後5時30分、日：午前9時～午後4時30分）
    - ・ 池上会館3階科学室（平日：午前9時～午後6時30分、土日：午前9時～午後5時）
    - ・ 大森第六中学校（平日：午前9時～午後5時）
    - ・ 御園中学校（平日：午前9時～午後4時45分、教員専用）
- 4 その他
  - ・ 学校教育法附則第9条の規定に基づき、令和7年度使用特別支援学級教科用図書を採択する。